

6 フォローアップ調査について

令和2年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した団体を対象に、フォローアップ調査を行いました。

調査目的:「地域発 元気づくり支援金」のさらなる有効活用を図る観点から、支援金事業実施後も継続して地域に効果を及ぼしている事例等の状況を把握し、発信する。

1. アンケート調査

調査時期: 令和5年 8～10月

調査対象: 令和2年度に実施された事業のうち、第三者評価が高かった事業を中心に選定

回収状況: 回答団体数 120

調査方法: 郵送又はメール、記名方式

調査内容: (1) 支援金活用事業の効果について
(2) 団体の現在の活動状況について

2. 追加調査(ヒアリング調査)

調査時期: 令和5年 10～11月

調査対象: アンケート調査の回答のあった団体の中から、支援金の効果的な活用により継続的に事業展開している団体を各地域1つ選定

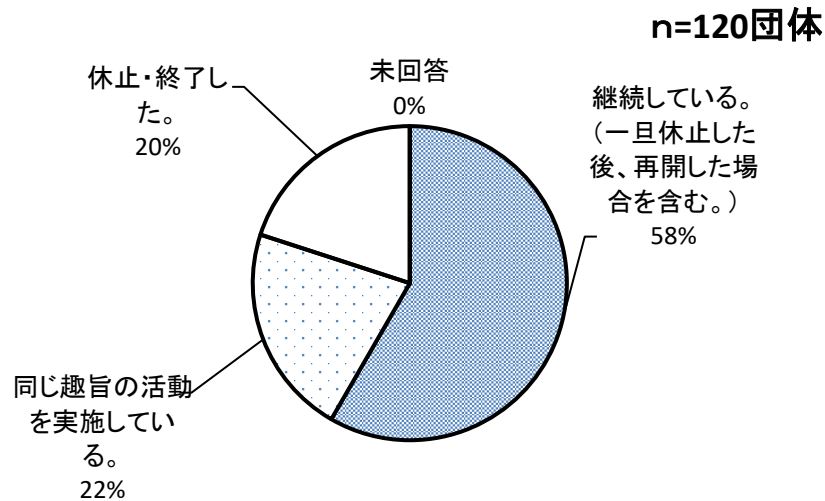
調査方法: 聞き取り調査

調査内容: (1) 最近の活動状況
(2) 取組の効果や課題
(3) 今後の事業展望等

1. アンケート調査結果

令和2年度に元気づくり支援金を活用して事業を実施した団体を対象に、事業実施から一定期間経過後の地域への効果や団体の活動状況に関するアンケート調査を行いました。

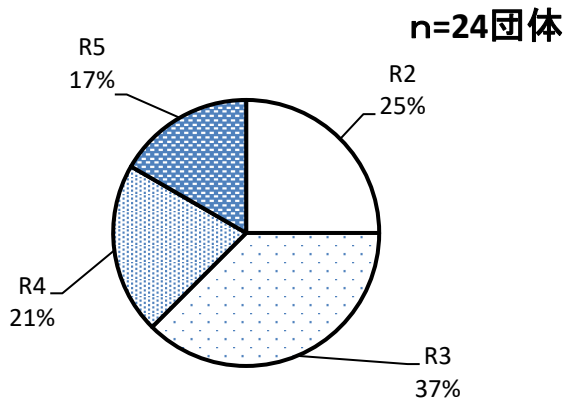
○元気づくり支援金活用後の団体活動について



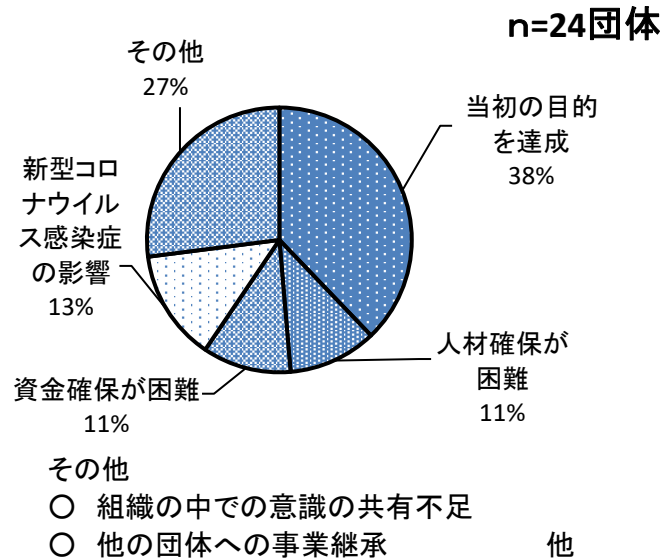
■ 元気づくり支援金の活用後も80%の団体が活動を継続している。

問 元気づくり支援金を活用後、活動を休止又は終了した(する)年度はいつですか。また、その理由は何ですか。

休止又は終了した(する)年度



休止又は終了した(する)理由(複数回答)

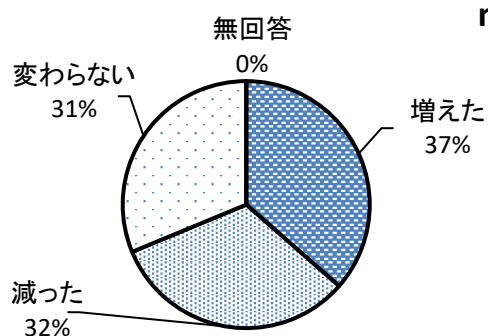


■ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、やむを得ず休止・廃止する団体がある一方で、当初の目的を達成した等の前向きな理由によるものも多く見られる。

問 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と現在を比べて、活動に変化はありましたか。

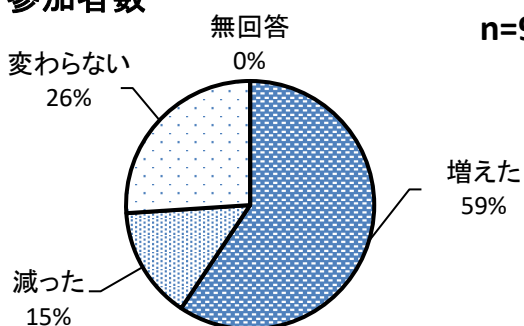
■ 参加経費について

n=96団体



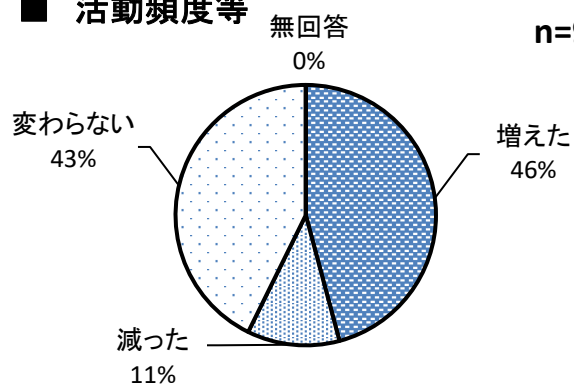
■ 参加者数

n=96団体



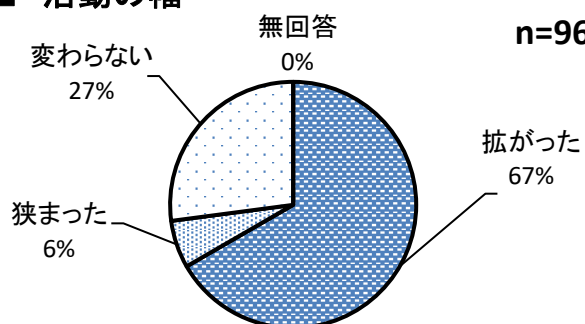
■ 活動頻度等

n=96団体



■ 活動の幅

n=96団体

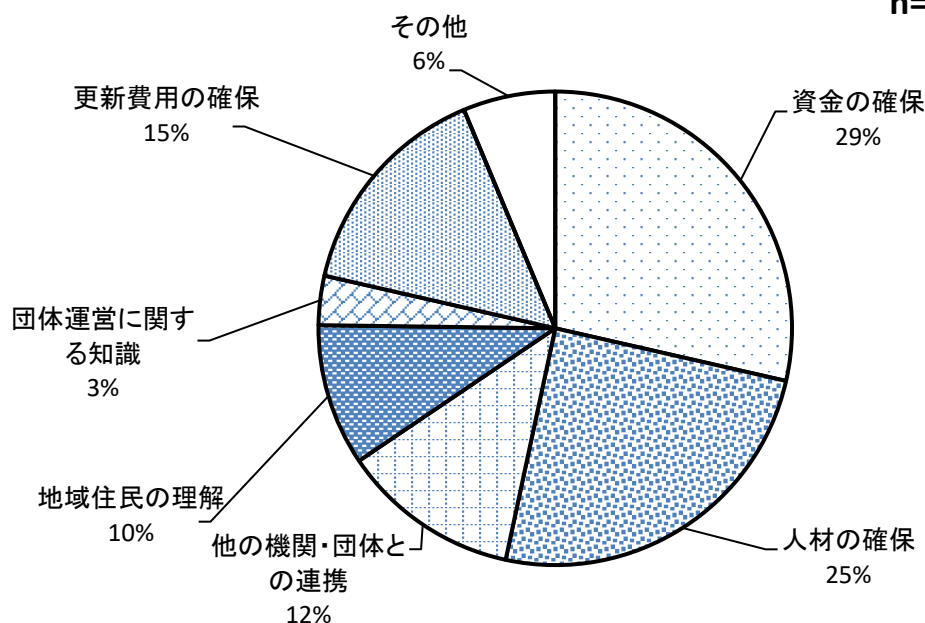


■ 総合的に見ると、元気づくり支援金を活用後、活動が活発化している団体が多い。

○活動を行っていく上での課題

問 活動していく上で、課題となっていることは何ですか。(複数回答可)

n=96団体



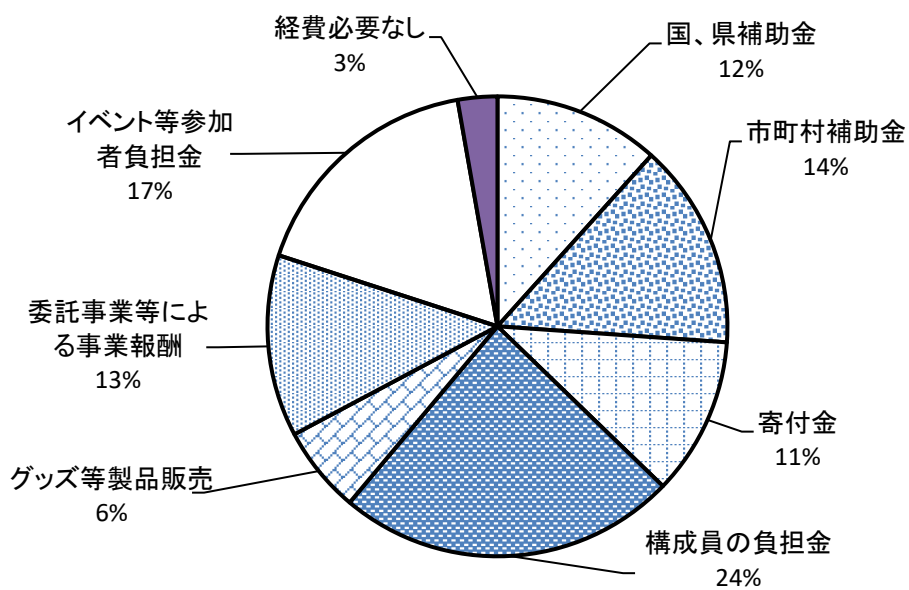
その他

- 活動のPR方法
- 活動に対する意識の涵養
- 活動内容に詳しい専門家の不在
- 記憶の風化による防災意識の低下

■ 活動を続けるには資金と人材が特に必要

問 活動資金の調達先を教えてください。(複数回答可)

n=96団体



■ 構成員の負担金が多いことが課題。
国、県、市町村補助金や寄付金、構成員の負担金等が全体の61%

「地域発 元気づくり支援金」令和2年度実施事業に係るフォローアップ調査集

回答団体数【地区別】

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-----|-----|----|----|-------|----|----|-----|
| 佐久 | 上田 | 諏訪 | 上伊那 | 南信州 | 木曾 | 松本 | 北アルプス | 長野 | 北信 | 合計 |
| 6 | 12 | 8 | 11 | 19 | 9 | 21 | 7 | 18 | 9 | 120 |

【問1】 設立時と比べた、構成員の人数の現状をお願いします。

| | |
|---------------|----|
| 設立時と比べ、構成員が増加 | 57 |
| 設立時と比べ、構成員が減少 | 35 |
| 設立時と比べ、構成員が同数 | 18 |
| 未回答・不明 | 10 |

【問2】 現在、構成員を募集している場合はその方法や課題・工夫等があればお願いします。

- ホームページ及びSNSの活用
- イベントを通じた勧誘
- 一般公募、ハローワーク等
- 新聞記事、新聞広告等
- 市町村広報誌やパンフレット等
- メンバーからの紹介、口コミ等
- 若い世代の加入が減っている
- 他

【問3】 元気づくり支援金を活用して取り組んだ活動（以下「活動」という。）を継続していますか。

- ① 継続している。（一旦休止した後、再開した場合を含む。）
- ② 同じ趣旨の活動を実施している。
- ③ 休止・終了した。

| | |
|--------|----|
| ① | 70 |
| ② | 26 |
| ③ | 24 |
| 未回答・不明 | 0 |

①、②を選んだ方は【問4】へ、③を選んだ方は【問10-1】へお進みください。

【問4】 活動は地域に対してどのような効果があると感じていますか。

- 地域に対する関心の増加
- 交流人口の増加、人と人とのつながり創出
- 地域住民の防災・減災意識向上
- 地域経済の活性化・まちのにぎわい創出
- 地域人材の活躍の場の創出
- 伝統芸能の継承
- 健康づくり活動の促進
- 地域の景観整備
- 多様な関係者のモチベーション向上
- 他

【問5】 元気づくり支援金活用事業を実施した年度と、現在とを比べて活動に変化はありましたか。次の番号からお選びください。

○ 活動経費 ①増えた ②減った ③ 変わらない

| | 活動経費 | 参加者数 |
|-----|------|------|
| ① | 35 | 57 |
| ② | 31 | 14 |
| ③ | 30 | 25 |
| 無回答 | 0 | 0 |

○ 参加者数 ①増えた ②減った ③ 変わらない
(※ 構成員を除く事業への参加者数)

○ 活動頻度等 ①増えた ②減った ③ 変わらない
(※ イベント開催数、支援金で整備した施設等の稼働率など)

| | 活動頻度等 | 活動の幅 |
|-----|-------|------|
| ① | 44 | 64 |
| ② | 11 | 6 |
| ③ | 41 | 26 |
| 無回答 | 0 | 0 |

○ 活動の幅 ①広がった ②狭まった ③ 変わらない
(※ 元気づくり支援金活用事業とは別に、新たな活動に取り組んだ → ①広がったに計上)

理由

- | |
|--|
| ○ コロナ禍により活動を控えたため (参加者数：②減った 活動頻度：②減った) |
| ○ 活動の認知度が上がり、関連事業も展開したため (活動経費：①増えた) |
| ○ 活動を通じ、様々な人や団体とのつながりができたため (活動の幅：①広がった) |
| 他 |

【問6】 活動資金の調達先を次の番号からお選びください。(複数回答可)

- ① 国、県補助金 (補助金名：_____)
- ② 市町村補助金 (補助金名：_____)
- ③ 寄付金
- ④ 構成員の負担金
- ⑤ グッズ等製品販売
- ⑥ 委託事業等による事業報酬
- ⑦ イベント等参加者負担金
- ⑧ 経費必要なし

| | |
|---|----|
| ① | 21 |
| ② | 26 |
| ③ | 20 |
| ④ | 43 |
| ⑤ | 11 |
| ⑥ | 23 |
| ⑦ | 31 |
| ⑧ | 5 |

① 国、県補助金

- | |
|--------------|
| ○ 休眠預金活用事業 |
| ○ こどもの未来応援基金 |
| ○ 文化芸術振興費補助金 |
| 他 |

② 市町村補助金

- | |
|--------------|
| ○ まちづくり活動補助金 |
| ○ 環境活動事業補助金 |
| ○ 農林水産振興事業 |
| 他 |

【問7】 活動資金を得るための取組や課題・工夫等あればお願いします。

- | |
|--------------------------|
| ○ 他団体、行政、教育機関等とのつながりを深める |
| ○ 講座等の質の向上に努めている |
| ○ SNSやホームページによる情報発信の強化 |
| ○ 物販などの収益事業を行う |
| ○ 企業からの協賛金や広告料、寄付を集める |
| ○ 経費の削減 |
| 他 |

【問 8-1】 団体として市町村（市役所・役場）と連携した事業を実施したことはありますか。次の番号からお選びください。（複数回答可）

| | | |
|--------------------------------------|---|----|
| ① 団体として実施する元気づくり支援金活用事業の中で連携したことがある。 | ① | 38 |
| ② ①以外の団体として実施する事業の中で連携したことがある。 | ② | 38 |
| ③ 市町村が実施する元気づくり支援金活用事業の中で連携したことがある。 | ③ | 7 |
| ④ ③以外の市町村事業の中で連携したことがある。 | ④ | 26 |
| ⑤ 実施したことはない。 | ⑤ | 27 |

③～④を選んだ方は【問 8-2】へ、③～④を選んでいない方は【問 9】へお進みください。

- ※ 連携した事業とは、事業の共同実施のほか、企画・立案・実施のいずれかの段階への参画・協力や、事業の一部又は全部の委託も含むものとします。ただし、市町村から後援を受ける以外の関わりがない事業は除いてください。
- ※ ③と④の選択肢について、市町村が実施する事業が元気づくり支援金を活用したものかわからない場合は、④を選択してください。

【問 8-2】 市町村が実施する事業に団体としてどのように関わったか教えてください。

・③（市町村が実施する元気づくり支援活用事業）での関わり方

| |
|---|
| <input type="radio"/> 市町村が整備した施設を利用して事業を行った |
| <input type="radio"/> 事業の企画段階において協力や意見提案等を行った |
| <input type="radio"/> 市町村が主催するイベントに協力者として参加した |
| 他 |

・④（市町村が実施する元気づくり支援活用事業以外の事業）での関わり方

| |
|---|
| <input type="radio"/> 市町村の事業に直接企画から実行推進まで参画した |
| <input type="radio"/> 地域の文化祭に参加した |
| <input type="radio"/> 村の農業体験ツアーの畑管理や参加者の受入等を行った |
| 他 |

- ※ ③と④の事例を別々に記載してください。（該当しないものは記載不要）
- ※ 該当する事業が複数ある場合は、それぞれ代表的なものを一つ記載してください。

（記載例）

- ・市町村が実施する〇〇事業（事業概要）で、企画段階から参画し、〇〇を行った。
- ・市町村が実施する〇〇事業（事業概要）のうち、〇〇業務を市町村から委託された。
- ・市町村が実施する〇〇事業（事業概要）で、〇〇するイベントに〇〇として参加した。

【問 9-1】 今後、活動を継続していく上で、課題となっていることは何ですか。次の番号からお選びください。なお、活動を休止・終了する予定の方は【問10-1】、【問10-2】へお進みください。（複数回答可）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ① 資金の確保 | ⑤ 団体運営に関する知識 |
| ② 人材の確保 | ⑥ 今後見込まれる施設・備品等の更新費用の確保 |
| ③ 他の機関・団体との連携 | ⑦ その他（具体的に下欄にお書きください。） |
| ④ 地域住民の理解 | |

その他

| | | |
|---------------------------------------|---|----|
| <input type="radio"/> 活動のPR方法 | ① | 68 |
| <input type="radio"/> 活動に対する意識の涵養 | ② | 59 |
| <input type="radio"/> 活動内容に詳しい専門家の不在 | ③ | 29 |
| <input type="radio"/> 記憶の風化による防災意識の低下 | ④ | 23 |
| <input type="radio"/> 伝承者の高齢化 | ⑤ | 8 |
| 他 | ⑥ | 36 |
| | ⑦ | 15 |

【問9-2】 【9-1】の課題を解決するために必要な支援、事項は何ですか。次の番号からお選びください。
(複数回答可)

- ① 国・県・市町村の補助金
- ② 補助金以外の財源確保に関する知識
- ③ 地域活動などの専門知識を有する外部人材の派遣
- ④ 地域づくり団体との情報共有・ネットワークづくり
- ⑤ その他（具体的に下欄にお書きください。）

| | |
|---|----|
| ① | 57 |
| ② | 32 |
| ③ | 26 |
| ④ | 39 |
| ⑤ | 21 |

その他

- 自主財源の確保
- 市町村や地域住民の理解
- 地域貢献に取り組む企業とのマッチング
- 市町村が任用している地域づくり人材の活用
- 自分たちで次のプロジェクトを育てる
- いかに楽しく活動を継続できるか
- 他

→ 【問11】へお願いします。

【問3】で「③」を選択、又は【問9-1】で「休止・終了する予定の方」

【問10-1】 元気づくり支援金活用事業を実施した後、休止又は終了した（する）年度を記入してください。

| 休止・終了年 | |
|--------|---|
| R2 | 6 |
| R3 | 9 |
| R4 | 5 |
| R5 | 4 |

【問10-2】 活動を休止又は終了した（する）理由を次の番号からお選びください。（複数回答可）

- ① 当初の目的を達成
- ② 資金確保が困難
- ③ 人材確保が困難
- ④ 他の機関・団体との連携不足
- ⑤ 地域住民の理解不足
- ⑥ 団体運営に関する知識不足
- ⑦ モチベーションの低下
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響
- ⑨ その他（具体的に下欄にお書きください。）

| | |
|---|----|
| ① | 14 |
| ② | 4 |
| ③ | 4 |
| ④ | 1 |
| ⑤ | 2 |
| ⑥ | 1 |
| ⑦ | 1 |
| ⑧ | 5 |
| ⑨ | 5 |

その他

- 組織の中で意識の共有ができなかったため
- クマの出没など、利用者の安全確保ができなくなったため
- 他の団体に事業を継承したため
- 他

【問11】 元気づくり支援金を活用した経験から、元気づくり支援金の補助内容などに関してのご提案や、これから応募する団体へのアドバイスがあればお書きください。

- 人件費を助成してほしい。
- 書類の書き方をもう少しわかりやすくしてもらいたい。
- コロナ禍により事業の拡充等が困難であった。継続事業を行う上で、3年間の要件について、事情に応じた要件緩和等があればよい。
- 新たな活動や地域の繋がり、拡がりを生むために、支援金を活用した団体間の橋渡しをしていただくことも必要かと思う。
- 県の予算の中で行っている支援金であるため、広報活動に努めてもらいたい。
- 維持管理の整備費用の補助も検討していただければ、利用者は増えると思う。
- 価格の安さだけではない業者の選定方法ももう少しできるとありがたい。
- 補助金等の支援は必要であるため、今後も当支援事業が続くことを望む。
- 意識して実施していけば、証拠書類の管理や報告のまとめ方法など、他の活動にも応用でき業務改善に繋がる。
- ハード対策費用も重要だが、継続維持するためには、会員の連帯感やコミュニケーションを行う面での支援などのソフト対策も重要なポイントと思う。
- プロジェクト（イベント）から地域の日常の中に影響させていくまでには地道な活動が必要。それには、活動を共にできる仲間との理念・目的の共有がとても重要になってくる。
- 活動を進めていく中で、常に新しい視点、ちょっとテーマと離れているかも、という発想も時には加えながら、厚みを増していくと活発に出来ると思う。
- 支援金がなくなる4年目以降の財源確保策を事前に検討しておく、活動が継続できる。
- 元気づくり支援金はいくまでも「呼び水」、その事業にスピードをもたらすもので、事業を継続していくことを考えているのであれば、事業そのものが継続できる仕組みが肝要である。
- 支援金事業を通して多様な人とつながることは、資金調達にとどまらない大きな財産となる。
- お金をいただく責任を感じたが、サポート体制がしっかりしているので、是非チャレンジしてほしい。

他